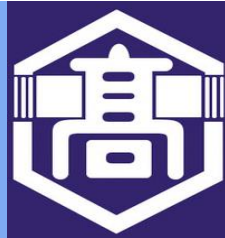


GO GOTSU!

やってみよう!

江津高校たより

第18号



GO GOTSU!
山陰の「創造力特区」へ。

の生みの親、博報堂(ブランド・イノベーションデザイン副代表)の深谷信介さん

スマート×都市デザイン研究所 所長

江津高生に語る!

- ・まちづくりは江津の住民がつくるもの。江津の高校生がどうかかわるかという自覚が大切。
- ・変化ときっかけを感じ取れる五感を育てよう。
- ・すべては意識することから始まる。「気づくか、気づかないか」です。
- ・身体が勝手にアイデアを生み出すよう大量の情報を身体に入れることです。
- ・「やるか、やらないか」の規準で考えてみよう。



満員御礼! 駅de映画館

生徒が日頃お世話になっているJR都野津駅を地域振興にどう活用するか、島根大学生と一緒に駅舎で映画を上映し、江津高校2年生が課題探求学習で開発したごぼうと桑茶を使った焼き菓子、タピオカドリンクを販売しました。都野津名物の“押し寿司”の出品もあって賑わいました。



あれ?ここは雲?カフエ



県内外の地権者や出店協力店、資材供給企業を相手に粘り強く電話で交渉を重ねながら実現させました。江津青年会議所をはじめ地域の大人のお陰で夢が形になりました! ありがとうございます!
(南口、山田、道山和、道山萌、宮内)

正確に相手に思いを伝えよう。これから活かそう! ロジカル・シンキング



「何かを伝える時は理由とその具体的な例を用いてわかりやすく伝えます。さっそく使ってみます!」という生徒の感想に「繰り返すことでしか身につけませんよ。がんばって!」と講師の井尻さん。休みの土曜日にもかかわらずこんなに大勢の3年生が受講したことに、自分を磨こうという意欲を感じました!

オープンスクールに参加された中学生のみなさんへ

10月初めに開催した2回目のオープンスクール、江津高校はいかがでしたか? 参加したみなさんからは、「優しくて親しみやすい江津高校の先輩たちだった」、「雰囲気の良い高校だった」という感想をたくさんいただきました。私も日頃から江津高校の生徒たちと過ごしていて、みなさんが感じ取った印象は間違っていない、と思います。

これから年末にむけて、みなさんは進学したい高校を絞り込む時期を迎えます。肌で感じた江津高校のフィット感を大事にしてください。

校長 宮島忠史

